

延岡高校における微生物の分布



班員 山本 義継 佐藤 司彩
 姫野 煌人 野高 美羽那

118班

1. 研究の動機

私たちがこの研究をしようと思ったきっかけは微生物が身近に生息していることを生物の授業で知り、延岡高校にはどのような微生物が生息しているのか疑問に感じたからです。

2. 研究方法

1. 微生物が生息しやすい環境(土、コケな)を探し、採取する。
2. 顕微鏡で観察。
3. 微生物の特定。
4. 微生物分布マップの制作
5. まとめ

3. 仮説

- 日の当たらない場所に微生物が繁殖している。
- ・湿っている場所に多く微生物が繁殖している
 - ・微生物の種類は場所によってバラバラである



ケンミジンコ
 淡水に主要なプランクトンであり、池や湖に多く生息している。



クマムシ
 生命力が非常に強い生き物



ゾウリムシ
 単細胞生物であり、1つの細胞で生きるのに必要なことを行っている。

4. 研究結果

微生物の種類は左下の画像である。日当たりの悪い場所では、クマムシなどの種類の微生物がいた。日当たりが良い場所と日当たりが悪い場所の両方に生息している微生物がいた。



	ケンミジンコ	クマムシ	ゾウリムシ	珪藻類	センモウチュウ	ヒルガタワムシ	センチュウ	ラップムシ	アブラミズ
A	◎たくさん		○5匹					○1匹	◎たくさん
B		○1匹				○2匹			
C							○		
D		○1匹					○		
E		○2匹				○1匹			
F									
G						○3匹			
H				○2匹	○1匹	○5匹	○		
I		○1匹							

5 今後の課題

- 微生物がいた場所と環境はどのような関係がある丘を調べる。
- ・研究で調べた微生物以外の種類がないか調べる。